



信楽中学校校報

令和4年度 第5号

(令和4年12月23日発行)

つな 「絆げ光 ～仲間と一緒に輝けるように～」

冬至の候、日頃から保護者の皆様、地域の皆様には、本校学校教育活動にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年もあと残すところ1週間となりました。4月に新入生62名を迎えスタートした令和4年度(2022年度)も早9か月が過ぎました。今年は、社会もwithコロナのモードに入り、社会活動がこれまでに近い形でどんどん再開されていったこともあり、本校においても学校教育活動は、2学期以降はほぼ3年前に近い形ですすめていくことができるようになりました。

生徒はこの2学期、節目節目となる学校行事に精一杯取り組み、それぞれ集団で取り組む活動を通して自身を成長させる機会としてくれたと感じています。3学年ともに落ち着いた状態の中で、授業をはじめとする学校教育活動をすすめることができました。

部活動も新チームとなり2年生を中心に運営をしています。野球、サッカー、バレーボールは他校との合同チーム



となりましたが、少ない人数であっても平日は校内での練習を頑張っています。

また、生徒会執行部も新体制を組織し、生徒会長は大西那月会長(3年)から杉本将吾会長(2年)へと引き継がれました。表題に掲げましたのは、新生徒会のスローガンです。このスローガンのもと、向こう1年間活動していくこととなりますが、「仲間を大切にする、仲間を放っておかない、仲間とともに高めあう」そんな温かい学校づくりに向け力を発揮してほしいと願っています。

思いのこもった体育祭選手宣誓

保護者の皆様におかれましては、今年1年、学校の活動に対してご理解いただき、様々な形でご支援ご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

大切に未来につなぎたい「リスペクト」の精神

～終業式講話より～

2022年も終わろうとしています。

2学期の始業式で、先生は皆さんに、「今まで見られなかった新しい景色がみられるといいね」という話をさせられました。行事の多い2学期、3年ぶりに通常に近い形で実施できた体育祭や合唱コンクールなどの取り組みを通して、集団で一つのことに取り組む楽しさ、一生懸命になれた自分や普段見られなかった友達の意外な面を知ったなど、いろんな新しい気づきや発見をしたのではないかと思います。



先生たちも、行事を通して、皆さんが生き生きと頑張っている姿、成長していく姿をたくさん見つけることができ、大変良い2学期だったなと振り返っています。

学校として大きな出来事がありました。男子駅伝チームが県で優勝して全国大会に出場という学校創立以来の快挙を成し遂げてくれました。

信楽の地元でも多くの人が喜んで下さっています。最近の街の人たちは、あいさつ代わりに、「信楽中が県で1位になったらしいぞ」と言ってから会話がなされているなんて嘘かホントかよくわからない話も聞かせていただきました。

大変うれしいことです。まさに、「新しい景色」を見せてもらいました。

また、今年は、3年生の森川瑛太さんと川上大智さんがU16 滋賀県代表選手として国立競技場に行き、2年生今井悠貴さんは、全国都道府県駅伝の滋賀県代表選手に選ばれ、1月22日広島で行われる大会に参加される予定です。他にも、ソフトテニス部も2ペアが近畿大会にコマを進め、冬休みに開催される近畿中学生インドア大会に参加します。今紹介した人たちのように記録に残らなくても、多くの活動で日々地道に努力



甲賀市長からねぎらわれる駅伝チーム

している信楽中生徒の皆さんの活動の様子をたくさん目にすることができました。

個人やチームとしての目覚ましい活躍は、選手やチームのたゆまぬ努力があったことは言うまでもありませんが、その陰には、多くの人たちの支えがあることを決して忘れてはなりません。



生徒がデザインしたのぼり旗

そして、その支える側の少なくない部分を占めて存在しているのが、信楽中で共に生活をしている生徒や先生であると思っています。学校がこのような活気ある姿を見せ始めたのも、普段の全校生徒の安定した生活が基盤としてあるからであり、その土台が揺らいでいたら、その上には決して立派な家は建ちません。

生徒一人一人が高い意識で、しっかりした学校を作り上げられてきたからこそ、それが選手の力を後押ししたのです。ですから、この2学期の結果は、みんなが作り上げたものでもあり、みんなで喜びたいし、これからも、学校の基盤を決して揺るがすことなく、その上に立って、みんなで高め合いたいと強く思っています。

さて、この1年は、皆さんにとってどのような一年になったでしょうか。1年前のお正月に立てた自分の目標はどれくらい達成できたでしょうか。通知表や三者懇談で出てきた反省や課題にしっかり向き合い、また新しい1年の目標を考えてください。

日本国内に目を向けてみると、今年は、悲しい出来事も多くありました。2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻はいまだ終わらず、戦争状態が続いています。また、夏には、安部元首相が狙撃され亡くなられるといういたましい事件もありました。

一方、明るいニュースもいくつかありました。その一つが、まだ記憶に新しいサッカー日本代表の活躍ではないでしょうか。

(中略)

今回のW杯に参加した日本代表は、試合での戦いぶりはもちろんですが、試合後のロッカールームの片づけや森保監督のサポーターへのお辞儀、試合後のサポーターによるごみ拾いなど、試合を離れたところでの行動が大きく記事

に取り上げられていました。このような日本チームやサポーターの行動が世界の人たちを驚かせ、称賛を受けたのは記憶に新しいところです。

このような記事を目にすると、なんだか心の中にポッと灯がともったような温かい気持ちになり、日本の文化は誇らしいなとあらためて思います。また、自分のふだんの行動はどうだろうか、人として恥ずかしい行動をしていないだろうかと知らず知らずのうちに、振り返っている自分がありました。

「相手を敬うということ」

「感謝の気持ちを素直に表現できるということ」

時代が変わっても、「日本で暮らすものとしての誇り」として、大切に、受け継いでいきたいものです。

そしてもう一つ忘れてはならないのは、それぞれの国や地域には、内容は違っても、それぞれ素晴らしい文化や習慣があります。今回、世界の人たちが日本を称賛してくれたように、私たちも他の国の文化や習慣をリスペクトし、お互いを理解しながら生きていきたいと思います。

さて明日から約2週間の冬休みに入ります。普段なかなか持てない家族との時間を大切にして、元気に過ごしてください。また3年生の皆さんは、進路選択に向け大切な2週間になります。例年の冬休みとは違う冬休みであることを自覚し努力を積み重ねてください。

2学期行事回想



伝統校甲賀中を追い詰めた男子テニス部



グランプリに輝いた3年2組の合唱



2年校外学習(京都自主研 清水寺)



町内小6授業体験(理科)



小中合同あいさつ運動



生徒会選挙立会演説会

みんなが安心して生活できる学校づくりに向け、生徒会も取り組みます。

役職名	名 前	学年	役職名	名 前	学年
会 長	杉本 将吾	2年	図書委員長	岸上風都香	2年
副会長	糸数亜羅太	2年	(副)	竹田 夏芽	1年
副会長	中西 陽菜	1年	給食委員長	河内 陽季	2年
書 記	上野 真那	2年	(副)	黒田実依愛	1年
書 記	杉本 美音	1年	環境委員長	中切 響紀	2年
会 計	中野 誉一	2年	(副)	加藤 凜	1年
会 計	篠原 美和	1年	福祉委員長	奥村 公翔	2年
議長団	濱瀬 蓮聖	2年	(副)	川口 維愛	1年
〃	古川 璃人	2年	健康委員長	奥田 朝日	2年
〃	北村龍之介	1年	(副)	奥田 真麻	1年
〃	大北 慎久	1年	広報委員長	大久保 椿	2年
			(副)	松田 麻花	1年

お知らせ

(1)卒業式は3月14日(火)午前中に開催予定です(3年ぶり)

市教育委員会との調整により、今年度の市内中学校卒業式については、3月14日(火)午前中に開催することになりました。現在のところ、在校生(1, 2年生)も参加して、全校で行う予定をしております。

(2)信楽文教ゾーンの大規模工事が始まります。信小前交差点からは、自転車を押して歩道通行を。早めに自宅出発をお願いします。

12月26日(月)より、旧窯業試験場、信楽小プールの取り壊し、その後の信楽にこにこ園の移転等、大規模な工事が数年に亘って行われます。工事中は、トラックやダンプ等の工事車両の通行が増えますことから、信楽小前交差点から中学校までの坂道は、なるべく車道には出ず、自転車を押して歩道を通行するように指導をしていきます。これに伴い、通学に要する時間も多少長くなりますので、今までより少し早い目に自宅を出発するようお声掛けをお願いします。

(3)新入生より、バッグが新しくなります。

現在、信楽中学校の新しい制服導入に向け検討に入っておりますが、信中バッグについては、来年度入学生よりリュックタイプとなります。在校生も購入できます。当分の間、現中学生が使っているスポーツバッグも可としますので、ご兄弟やご近所から譲り受けられた場合は、そのまま使っていただいてもなんら差し支えありません。